

基礎研究及び人材育成の強化

1. 危機的な現状

基礎研究と人材育成は、科学技術イノベーションを支える基盤であるが、近年、論文生産の国際比較分析等において、我が国の基礎研究の国際的な地位の低下を強く危惧させる傾向が見られており、また大学等における若手研究者のポストの減少は、今後の我が国の科学技術の活力の減退を深刻に懸念させる状況となっている。

このような危機的な現状にあって、国家戦略としての長期的視野に基づき、基礎研究と人材育成の強化を図ることが必要である。

2. 政策課題

基礎研究・人材育成に関して取り組むべき政策課題は多いが、現状においては、我が国の研究の国際的な地位低下を食い止め、競争力の回復を図ることが最優先に掲げられる。またそのためにも、若手研究者をはじめとする人材の育成・活用に関わる取組を強化すべきである。

3. 重点的取組み

基礎研究と人材育成の強化を図る上で、限られた資源を有効に活用し、持続的に成果を挙げるために、相互の競争を促しつつ、大学等が本来持つ力を最大限に引き出すアプローチを取ることが重要である。また成果の検証に関しては、客観的に検証可能で国際的に意味を持つ指標によって行うことが重要である。

こうした観点の下に講じられるべき主要な取組として、以下の3つを掲げる。

- ・国際的な水準で教育研究活動を展開する力を有する大学等を対象とした重点的な強化を図るため、世界トップレベルの研究拠点及び国際的な水準で研究活動、教育活動を展開する大学群の形成に向けて取り組む。
- ・競争的資金の改革等によって、効果的・効率的な研究を推進する。また、不正事案等の根絶に向けて取り組むとともに、基礎研究が果たす役割や研究成果について説明責任を果たすため、社会への情報発信に積極的に取り組む。
- ・中高年層のポストの見直し等を進め、若手研究者のポストの確保を図るとともに、産業界を含め社会全体で多様な人材の育成・活用を図る取組を強化する。

4. 取組みにおいて留意すべき視点

- ・大学等に対する支援は、範囲を絞った中で力のある大学間の競争を促すとともに、客観的に検証可能でかつ国際的に意味を持つ指標に照らして、成果を出すことのできる大学等に対して、重点的な支援を行うこと
- ・産学官連携事業として実施する支援については、基礎研究の成果をイノベーションにつなげる観点から、大学等が実用化・産業化に向けた意識を高めることを推進するとともに、限られた資金で優良な案件を支援できるよう、一層の民間との連携・民間資金の導入を推進すること
- ・国は、研究力強化のための各大学の改革を促すことが重要であり、各大学等においては、内部の部局間や世代間の資源配分の見直し等に自律的かつ積極的に取り組むこととし、こうした大学等に対して重点的な支援を行うこと